

第5学年 国語科学習指導案

児童 男子13名 女子9名 計22名
指導者 矢作 実

- 1 単元名 目的に応じた伝え方を考えよう
教材名 「ニュース番組作りの現場から」 「工夫して発信しよう」(光村図書 5年下)

2 単元の構成

(1) 教材について

本教材は、小学校第5学年及び第6学年の「C読むこと」の内容(1)イ「目的や意図などに応じて、文章の内容を的確に押さえながら要旨をとらえること。」オ「必要な情報を得るために、効果的な読み方を工夫すること。」を受け、「文章構成をつかみ、要旨をとらえて、ニュース番組がどのように作られているかを知り、伝えたいことと伝える方法について興味を深める。」「伝えたいことをどのように伝えるかをグループで協力して考え、形にして、発信する。」ことを目標にしている。

本教材は、「ニュース番組作りの現場から」と「工夫して発信しよう」の2つの教材で構成されている。「ニュース番組作りの現場から」では、番組の作り方に関する情報提供のみでなく、系列に沿った大事な事柄に注意して読み取る。そのことを生かして、「工夫して発信しよう」では、話題提示・取材方法・原稿作成などといった活動を通して、目的に応じた情報の配列・編集等についての理解を深めるようにしたい。

(2) 児童について

7月に行った国語アンケートの結果は次の通りである。

- ① 国語の勉強は好きですか。(「どちらかといえば」も含む) 59%
- ② 説明文の学習は好きですか。(「どちらかといえば」も含む) 55%
- ③ 説明文の学習で、自力で課題の答えを見つけられますか。 59%
(「見つけることが多い」も含む)
- ④ 読書は好きですか。(「どちらかといえば」も含む) 100%
- ⑤ 自分の考えを発表できますか。(「できるほう」も含む) 55%

アンケートの結果を見ると、説明文の学習が好きな児童が6割近くいる。その理由として、「課題の答えが分かったときに嬉しくなる」ことや「聞かれたことに答えられるから」ということを挙げている。このことは、課題の意味が理解でき、課題を解決する力が身に付けば、自分から進んで解決したり、発表したりすることができるようになることを意味している。その意欲が、自分の考えを更に、深めたり、広めたりしていくことにつながると考える。

普段の国語の授業の様子を見ると、積極的に発言する児童が3・4名程度で、あまり発言しない児童の方が多い。この理由として、「理由がうまく話せない」ことを多く挙げている。このことは、答えは何となくイメージできているものの、根拠をうまくまとめられないことに原因があると考えられる。また、物事を論理的に考えて、処理していく力がまだまだ不足していると思われる。このことから、授業では課題解決の方法をしっかりと理解させ、結論と根拠を常に意識して、考えたり、発表したりする力をつけていきたい。

(3) 指導にあたって

第1次の「つかむ」段階では、学習の見通しをもって、ニュース番組作りの特徴に気づき、特集についての話題を広げるように考えを引き出す。また、説明文の学習の後、実際に情報を発信する活動をするを知らせ、意欲付けを図る。

「ふかめる」「まとめる」の段階では、時系列に気を付けながら、「一人学び」で教材文全体を表に整理し、それをもとに、特集とは何か、番組作りの過程で大事なことや気を付けることは何かを学び合わせ読み深めるようにする。また、最後の段落に着目させ、要旨をしっかりとらえさせる。

「ひろげる」の段階では、読み取ったことをもとに、誰にどんな目的で特集を報道するのが明らかになるように、企画の検討をグループで話し合う。

第2次の「つかむ」の段階では、情報発信までの手順を確認し、グループごとに前時の学習をもとに企画会議を開いて何をどのように発信するのか確認する。

「ひろげる」の段階では、第1次で学習したことをもとに、取材・編集など実際に活動する。
「まとめる」の段階では、発信の意図や工夫している点を明らかにして、グループで発表し合い、グループのよい点を学び合う。また、振り返りカードをもとに単元全体の学習について、自己評価する。

3 単元の見どころ

- ◎ 文章構成をつかみ、要旨をとらえて、ニュース番組がどのように作られているかを知り、伝えたいことと伝える方法について興味を深める。
- ◎ 伝えたいことをどのように伝えるかをグループで協力して考え、形にして発信する。

<国語への関心・意欲・態度>

- ・ニュースを探して伝えることに関心をもち、伝え方や内容を工夫しようとしている。

<読む能力>

- ・テレビ放送のニュース番組の「特集」の作り方を理解し、段落ごとに整理し要旨をまとめることができる。[オ]

<書く能力>

- ・目的や相手を意識し、書く必要がある事柄を整理して書くことができる。[イ]
- ・集めた材料を、目的に合わせて整理し、効果的に配列しながら書くことができる。[エ]

<言語についての知識・理解・技能>

- ・文末表現に着目し、段落相互の関係を理解することができる。オ [ア]
- ・漢字や言葉の意味・使い方を理解することができる。ア [ア]

4 単元の指導計画と評価規準（全14時間 読むこと8時間 書くこと6時間）

第1次 「ニュース番組作りの現場から」（8時間）

段階	時	主な活動内容	評価規準<評価方法>		
			国語への 関心・意欲・態度	読む能力 書く能力	言語についての 知識・理解・技能
つかむ	1	○ 学習の見通しをもつ。 ・ ニュース番組作りの特徴に気づく。	・ 題名に関心をもち、進んで段落のつながりを考えて読み取ろうとしている。 ・ ニュース番組に対する関心を高めようとしている。 〈発言・態度〉	・ 全文を読み、感想をまとめている。(分かったことと、疑問等) 〈発言・シート〉	・ 新出漢字や語句について正しく理解している。 〈発言・シート〉
ふかめる・まとめる	2	○ ニュース番組の特集ができるまでの様子を読む。 ・ ニュース番組の特集や話題選び、取材の過程を読み取る。 ・ 書かれている内容を表に整理する。	・ ニュース番組作りの話題選びや取材の過程を読み取ろうとしている。 〈発言・自己評価〉	・ ニュースを人々に伝えるまでの過程を表に整理しながら、自分の力で読んでいる。 〈発言・シート〉	・ 時間の言葉に着目して、過程を表にしている。 「放送○○日前」 ・ ニュース番組作りの話題選び、取材方法を理解している。 〈発言・シート〉
	3	○ ニュース番組の特集ができるまでの様子を読む。 ・ ニュース番組作りの撮影、放送の過程を読み取る。	・ ニュース番組作りの撮影、放送の過程を読み取ろうとしている。 〈発言・態度・自己評価〉	・ ニュースを人々に伝えるまでの過程を表に整理しながら、自分の力で読んでいる。 〈発言・シート〉	・ 時間の言葉に着目して、過程を表にしている。 「放送○○日前」 ・ 放送に関する用語 〈発言・シート〉
	4	○ 「特集」とは何か、どんなきっかけで作られるのかを読み取る。	・ 「ニュース」と「特集」の違いや「特集」になったきっかけを意欲的に発表している。	・ 「特集」とは何かを読み取っている。 〈発言・シート〉	・ 「特集」とは何かを理解している。 「ニュース」 「特集」 「関心」

			〈発言・態度・自己評価〉		〈発言・シート〉
	5	○ 番組作りの過程で報道スタッフの工夫をまとめる。 (話題選び～本番の確認)	・番組作りの過程で報道スタッフの工夫をまとめる。〈発言・態度・自己評価〉	・番組作りの過程で報道スタッフの工夫を正確に読み取っている。 〈発言・シート〉	・番組作りの過程で報道スタッフの工夫を見つけている。 「話題」 「取材」 「工夫」 〈発言・シート〉
	6	○ 番組作りの過程で報道スタッフの工夫をまとめ、願いを読み取る。 (インタビュー～放送)	・番組作りの過程で報道スタッフの工夫をまとめ、願いを読み取ろうとしている。 〈発言・態度・自己評価〉	・番組作りの過程で報道スタッフの工夫をまとめ、願いを正確に読み取っている。 〈発言・シート〉	・番組作りの過程で報道スタッフの工夫を見つけている。 「撮影」 「編集」 「放送用原稿」 「放送」「ねうち」 〈発言・シート〉
ひろげる	7	○ 自分がどんな特集をしたいかを考え、話し合う。	・どんな話題を取り上げたいのか、目的意識、相手意識を考え発表しようとしている。 〈発言・態度・自己評価〉	・目的意識をもって話題を書いている。 〈発言・ノート〉	・「特集」という言葉を振り返りながら話題を書いている。 〈発言・ノート〉
	8	○ 「わたしの特集」というテーマで企画書を書く。	・読み取ったことを生かして、どんな特集にするのか考えようとしている。 〈発言・態度・自己評価〉	・目的をもって、「わたしの特集」の企画書を書いている。 〈発言・ノート〉	・「どんな話題を」「何のために」「だれに伝えたいのか」がよく分かるように文を書く。 〈発言・ノート〉

第2次 「工夫して発信しよう」(6時間)

段階	時	主な活動内容	評価規準<評価方法>		
			国語への関心・意欲・態度	読む能力 書く能力	言語についての知識・理解・技能
つかむ	1	○ 情報までの手順を確認する。	・「ニュース番組の現場から」の要旨から、情報を発信することの魅力を確認し、意欲を高めようとしている。 〈発言・態度〉	・目的に応じて情報発信する計画を立て、企画書を書いている。 〈発言・ノート〉	・情報発信までの手順をもとに、内容に立ち返りながら考えている。 〈発言・ノート〉
	2	○ 同じ内容の特集ごとにグループを作り前時の学習をもとに企画会議を開く。	・自分たちの力で情報を発信していきたいという願いをもととしている。 〈発言・態度・自己評価〉	↓	↓
ひろ	3	○ 情報発信の準備をする。	・誰に何を伝えたいのか確認して、意欲	・取材メモを活用して、取材している。	・身につけた言語能力を生かして活動し

げ る		・取材をする。	的に取材しようとしている。 〈発言・態度・自己評価〉	〈発言・ノート〉	ている。 〈発言・ノート〉
4	○ 情報発信をする。 ・「編集して伝える」を参考に編集する。	・伝えることを中心に構成メモや放送原稿を意欲的に書こうとしている。 〈自己評価〉	・取材した内容を構成メモに書いてい。 ・放送原稿を書いている。 〈ノート〉	・分かりやすい言葉や結論・理由の順で述べる文章など、説明文で学習したことを生かした放送原稿にしている。 〈発言・ノート〉	
5	○ 情報を発信し、発信側の意図と受信側の感想を交流する。	・情報の発信や受信について考えを深めようとしている。 〈自己評価〉	・聞き取りメモをもとに工夫されている点を中心に交流している。 〈振り返りカード〉	・言葉の使い方について気を付けている。 〈自己評価〉	
ま と め る	6	○ 自己評価をもとに情報の発信や受信について話し合う。	・振り返りカードをもとに、情報の発信や受信について話し合おうとしている。 〈自己評価〉	・振り返りカードをもとに、発信者だけでなく受信者としての気持ちの変化も書いている。 〈振り返りカード〉	・特集作りを通して知った言語を生かして振り返りカードに記入することができている。 〈振り返りカード〉

5 本時の指導

(1) 目標 ニュース番組作りの過程での工夫を読み取り、報道スタッフの願いを考えることができる。

(2) 指導にあたって

○仮説1 〈板書構成の工夫〉に関わって

表をもとに、番組作りの過程で報道スタッフの工夫をまとめる。

○仮説2 〈学び合い〉に関わって

番組作りの過程での報道スタッフの願いについて話し合う。

○仮説3 〈一人一人の評価の積み重ね〉に関わって

終末において、互いの良さに気づくために、「学び合い」から自分の読み取りに生かされた友達の考えやそれについての自分の考えを書き、発表する。

(3) 展開

段階	学習内容と学習活動 (○発問 ・児童の反応)	一人	複数	全体	留意点 評価〈評価方法〉
つか か む	1. 前時の学習を想起する。 ○番組作りの本番の確認までの報道スタッフの工夫は何でしたか。 ・多くの人の関心よぶを話題 (話題決め) ・疑問を中心に取材 (取材の内容決め) ・正確さ (取材) ・最も伝えたいことを中心にする (本番の確認) ・撮影する人や場所 (本番の確認)				・前時に学習した内容を振り返り、話題決めから本番の確認までの過程での報道スタッフの工夫をまとめたものを黒板に掲示する。
5 分	2. 課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">ニュース番組作りの過程での工夫を読み取り、報道スタッフの願いを考えよう。</div>				
	3. 課題解決の見通しをもつ。				・番組作りのインタビュー

